

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄							備考		
計画の区分	研究科の専攻に係る課程の変更									
フリガナ設置者	群馬県									
フリガナ大学の名称	群馬県立県民健康科学大学大学院(Graduate School, Gunma Prefectural College of Health Sciences)									
大学本部の位置	群馬県前橋市上沖町323番地1									
大学の目的	豊かな人間性と専門的な知識・技術に加え、人間としての尊厳を重んじ、様々な側面から保健医療を考え、自立して判断し行動することができる保健医療専門職（看護師、保健師、診療放射線技師）を養成するとともに、研究成果を地域に還元し、県民の保健・医療・福祉環境のさらなる向上に寄与する。									
新設学部等の目的	看護学研究科看護学専攻(博士後期課程)は、修士課程を通して修得した能力を基盤に、研究を自律的に継続し、自身が所属する組織や地域といった枠組みを超えて質の高い看護を提供するために、学術的基盤に基づく管理・教育・研究の視点から看護の機能を発展させることに貢献できる、次の人材の育成を目的とする。 ①保健医療機関における看護管理者(幹部) ②看護教育学の専門的知識・技術(教育力)を兼ね備えた大学教員 ③看護実践に役立つ知識の産出・適用と現場の研究を推進する研究者									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		
	看護学研究科看護学専攻(博士後期課程) [Graduate School of Nursing, Department of Nursing Science (Doctoral Program)]	3年	2人	—	6人	博士(看護学)	平成28年4月第1年次	群馬県前橋市上沖町323番地1		
計	3	2	—	6						
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	平成28年4月 上記研究科(博士後期課程)の設置にあわせ、修士課程を博士前期課程と改称する。 平成28年4月 診療放射線学研究科診療放射線学専攻(博士後期課程)を設置し(平成27年3月認可申請)、あわせて修士課程を博士前期課程と改称する。									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
	看護学研究科看護学専攻(博士後期課程)	講義	演習	実験・実習	計	16単位				
教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等					兼任教員等		
	新設分	看護学研究科看護学専攻(博士後期課程)	11人(11)	4人(4)	—人(—)	—人(—)	15人(15)	—人(—)	5人(5)	平成27年3月認可申請
		診療放射線学研究科診療放射線学専攻(博士後期課程)	7人(7)	8人(8)	2人(2)	—人(—)	17人(17)	—人(—)	1人(1)	
		計	18(18)	12(12)	2(2)	—(—)	32(32)	—(—)	—(—)	
	既設分	看護学研究科看護学専攻(修士課程)	11人(11)	5人(5)	1人(1)	—人(—)	17人(17)	—人(—)	8人(8)	
		診療放射線学研究科診療放射線学専攻(修士課程)	9人(9)	9人(9)	2人(2)	—人(—)	20人(20)	—人(—)	6人(6)	
計		20(20)	14(14)	3(3)	—(—)	37(37)	—(—)	—(—)		
合計		22(22)	14(14)	3(3)	—(—)	39(39)	—(—)	—(—)		
教員以外の職員の概要	職種		専任		兼任		計			
	事務職員	15人(15)		4人(4)		19人(19)			大学全体	
	技術職員	0(0)		1(1)		1(1)				
	図書館専門職員	1(1)		4(4)		5(5)				
	その他の職員	1(1)		3(3)		4(4)				
計	17(17)		12(12)		29(29)					
校地等	区分		専用		共用		共用する他の学校等の専用		計	
	校舎敷地	26,218㎡		—㎡		—㎡		26,218㎡	大学全体	
	運動場用地	6,533㎡		—㎡		—㎡		6,533㎡		
	小計	35,939㎡		—㎡		—㎡		35,939㎡		
	その他	7,988㎡		—㎡		—㎡		7,988㎡		
合計	40,739㎡		—㎡		—㎡		40,739㎡			

校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		12,756.86㎡ (12,756.86㎡)	—㎡ (—㎡)	—㎡ (—㎡)	12,756.86㎡ (12,756.86㎡)				
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	9室	27室	19室	1室 (補助職員0人)	1室 (補助職員0人)				
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称			室 数				
		看護学研究科看護学専攻(博士後期課程)			13	室			
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標本	大学全体での共用分 図書 52,646 [2,978] 学術雑誌 192 [56] 電子ジャーナル 3 [1] 視聴覚資料 560 機械・器具 1,000 標本 1		
	看護学研究科	[うち外国書] 冊 14,318 [1,264] (13,238 [1,225])	[うち外国書] 種 137 [39] (137 [39])	電子ジャーナル [うち外国書] 種 2 [2] (2 [2])	点 962 (944)	点 1,500 (1,383)		点 100 (77)	
	計	14,318 [1,264] (13,238 [1,225])	137 [39] (137 [39])	2 [2] (2 [2])	962 (944)	1,500 (1,383)		100 (77)	
図 書 館		面積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数	大学全体				
		846㎡	74席	70,000冊					
体 育 館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		803.14㎡	テニスコート2面						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	研究科単位での算出不可能なため、学部との合計 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	418千円	418千円	418千円	—千円	—千円	—千円	
		共同研究費等	11,200千円	11,200千円	11,200千円	—千円	—千円	—千円	
		図書購入費	22,341千円	22,341千円	22,341千円	—千円	—千円	—千円	
	設備購入費	8,639千円	8,639千円	8,639千円	8,639千円	—千円	—千円	—千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	入学(県内)141千円 入学(県外)282千円 授業料535.8千円	535.8千円	535.8千円	—千円	—千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		県立大学のため県費							
大 学 の 名 称 群馬県立県民健康科学大学									
学 部 等 の 名 称 修業年限 入学定員 編入学定員 収容定員 学位又は称号 定員超過率 開設年度 所在地									
看護学部 看護学科 4年 80人 — 320人 学士(看護学) 1.02 平成17年 群馬県前橋市上沖町323番地1 診療放射線学部 診療放射線学科 4年 35人 — 140人 学士(放射線学) 1.02 平成17年 看護学研究科看護学専攻(修士課程) 2年 8人 — 16人 修士(看護学) 0.81 平成21年 診療放射線学研究科診療放射線学専攻(修士課程) 2年 3人 — 6人 修士(放射線学) 1.00 平成21年									
大 学 の 名 称 群馬県立女子大学									
学 部 等 の 名 称 修業年限 入学定員 編入学定員 収容定員 学位又は称号 定員超過率 開設年度 所在地									
文学部 国文学科 4年 50人 3年次 5人 210人 学士(文学) 1.17 昭和55年 英米文化学科 4年 40人 5人 170人 学士(文学) 1.18 昭和55年 美学美術史学科 4年 30人 3人 126人 学士(文学) 1.21 昭和55年 総合教養学科 4年 20人 2人 84人 学士(文学) 1.10 平成21年 文学研究科修士課程 日本文学専攻 2年 5人 — 10人 修士(文学) 0.30 平成6年 英米文化専攻 2年 5人 — 10人 修士(文学) 0.60 平成6年 芸術学専攻 2年 5人 — 10人 修士(文学) 0.40 平成6年 複合文化専攻 2年 3人 — 6人 修士(文学) 0.83 平成25年 国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション課程 4年 30人 3人 126人 学士(国際コミュニケーション学) 1.23 平成17年 国際ビジネス課程 4年 30人 3人 126人 学士(国際コミュニケーション学) 1.38 平成17年 国際コミュニケーション研究科修士課程 国際コミュニケーション専攻 2年 10人 — 20人 修士(国際コミュニケーション学) 0.25 平成21年									
既設大学等の状況									
附属施設の概要		該当なし							

教 育 課 程 等 の 概 要														
(看護学研究科看護学専攻(D))														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	保健医療組織管理学特論	1・2前		2				○						兼5 集中 共同 *講義
	小計(1科目)	-	0	2	0			-	0	0	0	0	0	兼5 -
専門科目	看護政策管理学特論	1・2前	2					○	1					兼1 共同 *講義
	看護教育学特論	1・2前	2					○	2					共同 *講義
	実践看護学特論	1・2前	2					○	6	4				共同 *講義
	看護専門職の役割と責務	1・2前		2				○	10	2				共同 *講義
	倫理学特別演習	1後		2				○	3					共同 *講義
	プレFD特別演習 (大学教員としての基礎)	1・2前		2				○	4					共同 *講義
	小計(6科目)	-	6	6	0			-	10	4	0	0	0	兼1 -
研特 究別	特別研究Ⅱ	1~3通	6					○	10	4				
	小計(1科目)	-	6	0	0			-	10	4	0	0	0	0 -
合計(8科目)		-	12	8	0			-	11	4	0	0	0	兼5 -
学位又は称号		博士(看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)						
卒業要件及び履修方法								授業期間等						
(修了要件) 本研究科に3年以上在籍し、所定の単位(16単位以上)を修得するとともに必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査及び最終試験(口頭試験)に合格しなければならない。 (履修方法) (1) 特別研究Ⅱ6単位を必修科目として履修する。 (2) 専門科目のうち、看護政策管理学特論、看護教育学特論、実践看護学特論の3科目6単位を必修科目として履修する。 (3) (1)(2)以外の科目4単位を選択科目として履修する。 (履修科目の登録の上限) 1年間に6単位とする。								1学年の学期区分			2期			
								1学期の授業期間			15週			
								1時限の授業時間			90分			

(注)

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要

(看護学研究科看護学専攻(M))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	看護学研究方法論Ⅰ(研究過程と研究方法の理解)	1前		2		○			1						*演習 共同
	看護学研究方法論Ⅱ(研究批評と研究成果の活用)	1後		2		○		4	3						*演習 オムニバス
	専門職教育展開論Ⅰ(カリキュラム編成の基礎)	1前		2			○		2						*講義 共同
	専門職教育展開論Ⅱ(カリキュラム編成の実際)	1後		2			○		3						共同
	研究と倫理	1前		2		○			2	1					*演習 集中 オムニバス
	教育と倫理	1後		2		○			2						*演習 集中 オムニバス
	看護政策管理論	1前		2		○			1						*演習
	診療放射線学特論	1・2前		2			○								兼1
	放射線医療統計解析学	1・2前		2			○								兼1
	放射線画像解剖学特論	1・2前		2			○								兼1
	画像診断学特論Ⅰ	1・2前		2			○								兼1 集中
	画像診断学特論Ⅱ	1・2後		2			○								兼1 集中
	放射線学シュミレータ特論	1・2後		2			○								兼2 共同
	保健医療特論	1・2後		2			○								兼2 オムニバス
保健医療安全学特論	1・2後		2			○								兼2 共同	
小計(15科目)		—	0	30	0	—	—	10	4	0	0	0	0	兼8	—
専門科目	実践看護学構築論Ⅰ(看護理論と看護実践)	1前		2			○		7						*講義
	実践看護学構築論Ⅱ(看護学の革新と看護研究)	1後		2			○		7	4					
	看護学演習(実践看護学展開論)	1通		8			○		7	4					
	小計(3科目)	—	0	12	0	—	—	7	4	0	0	0	0	0	—
看護教育学	看護教育学Ⅰ(看護教育学の基礎知識)	1前		2			○		3		1				*講義 オムニバス
	看護教育学Ⅱ(看護教育学を支える理論と知識)	1後		2			○		2						オムニバス
	看護学演習(看護教育学研究)	1通		8			○		3						オムニバス
	小計(3科目)	—	0	12	0	—	—	3	0	1	0	0	0	0	—
特別研究	特別研究	1~2通	12				○		10	4	1				
	小計(1科目)	—	12	0	0	—	—	10	4	1	0	0	0	0	—
合計(22科目)		—	12	54	0	—	—	11	5	1	0	0	0	兼8	—
学位又は称号	修士(看護学)	学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学関係)										
卒業要件及び履修方法								授業期間等							
(修了要件) 本研究科に2年以上在籍し、所定の単位(32単位以上)を修得するとともに必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験(口頭試験)に合格しなければならない。 (履修方法) (1) 実践看護学領域・看護教育学領域のいずれかを主専攻とする。 (2) 主専攻に関連する3科目12単位以上を必修科目として履修する。 (3) 特別研究12単位を必修科目として履修する。 (4) (2)(3)以外の科目8単位を選択科目として履修する。 (5) 自由科目を履修できるが修了要件としての単位数には加算しない。 (履修科目の登録の上限) 1年間に24単位とする。ただし、集中講義として開講する授業科目及び特別研究はこのなかに含めない。 (注)								1学年の学期区分			2期				
								1学期の授業期間			15週				
								1時限の授業時間			90分				

- 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

教育課程等の概要															
(看護学部看護学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	文化と生活	群馬県民の文化と生活	1前	2			○								兼5 オムニバス
		芸術Ⅰ(音響芸術)	1・2前	2			○								兼1 *演習
		芸術Ⅱ(造形芸術)	1・2後	2			○								兼1 *演習
		芸術Ⅲ(舞台芸術)	2後	2			○								兼1 *演習
		異文化の理解	1・2後	2			○								兼1 *演習
		歴史学の変化と発展	1後	2			○								兼1
	小計(6科目)		-	2	10	0	-			0	0	0	0	0	兼10 -
	個人と社会	個人と集団	1・2前		2			○							兼1
		人間と職業	2後		2			○							兼1
		法と正義	1後		2			○							兼1
		倫理と道徳	1・2前		2			○			1				兼1
社会と経済		1・2前		2			○							兼1	
心の機能と構造		1・2後		2			○							兼1	
小計(6科目)		-	0	12	0	-			0	1	0	0	0	兼5 -	
人間とコミュニケーション	英語Ⅰ	1前・後		2			○							兼1	
	英語Ⅱ	1後・2前後		1			○				1			兼2	
	英語Ⅲ	1後・2前・後		1			○				1			兼1	
	英語Ⅳ	1後・2前・後		1			○				1			兼1	
	中国語	1・2後		2			○							兼1 *講義	
	フランス語	1・2前		2			○							兼1 *講義	
	ポルトガル語	1・2後		2			○							兼1 *講義	
	韓国語	1・2前		2			○							兼1 *講義	
	情報科学Ⅰ	1前	2				○							兼1 *講義	
	情報科学Ⅱ	1後		2			○							兼1 *講義	
	情報科学Ⅲ	1・2後		2			○							兼1 *講義	
小計(11科目)		-	2	17	0	-			0	1	0	0	0	兼10 -	
環境と科学	生活と科学Ⅰ(人文・社会科学と生活:哲学)	1・2後		2			○							兼1	
	生活と科学Ⅱ(人文・社会科学と生活:文学)	1・2後		2			○							兼1	
	生活と科学Ⅲ(人文・社会科学と生活:政治学)	1後		2			○							兼1	
	生活と科学Ⅳ(自然科学と生活:生物学)	1・2前		2			○							兼1	
	生活と科学Ⅴ(自然科学と生活:化学)	1・2後		2			○			1				兼1	
	自然現象と科学Ⅰ(自然科学の基盤:数学)	1・2前		2			○							兼1 *演習	
	自然現象と科学Ⅱ(自然現象の基盤:物理学)	1後		2			○							兼1	
	環境科学	1・2前		2			○			1				兼1	
	スポーツ科学Ⅰ(スポーツ理論)	1・2前		1			○							兼1 *演習	
	スポーツ科学Ⅱ(体力づくり)	1前・後・2後		1										兼1 *講義	
	スポーツ科学Ⅲ(身体表現)	1・2後		1										兼1 *講義	
小計(11科目)		-	0	19	0	-			1	1	0	0	0	兼8 -	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	環境と健康	群馬県民の生活と健康	1後	2			○			1	2	3			オムニバス
		「環境と健康」概論	1前	2			○			4					オムニバス
		「環境と健康」各論Ⅰ(内部環境を支える人体の構造と機能)	1前	1					○						兼1
		「環境と健康」各論Ⅱ(代謝と栄養)	1前	1					○	1					*講義
		「環境と健康」各論Ⅲ(薬理作用)	1後	1					○	1					*講義
		「環境と健康」各論Ⅳ(病原体と免疫)	1後	1					○						兼1 *講義
		人間と放射線	2・3前		2			○							兼2
		医療画像情報解析学	2・3後		2			○							兼1
	小計(8科目)	-	8	4	0		-		5	2	3	0	0	兼5	—
	人間の発達と健康	「人間の発達と健康」概論	1通	2					○	6					オムニバス *講義
		「人間の発達と健康」各論(導入実習)	1後	2					○	5	5	10			共同*演習
		「人間の発達と健康」各論Ⅰ(母胎期)	2前	1					○	1	1				*講義
		「人間の発達と健康」各論Ⅱ(乳幼児期・学童期)	2前	1					○	1	1	1			*講義
		「人間の発達と健康」各論Ⅲ(思春期・青年期)	2前	1					○	2	1	1			*講義
		「人間の発達と健康」各論Ⅳ(成人期)	2前	1					○	2	1				*講義
		「人間の発達と健康」各論Ⅴ(老年期)	2前	1					○	2	1	1			*講義
		「人間の発達と健康」各論Ⅵ(終末期)	2後	1					○	4	1				兼1 *講義
	小計(8科目)	-	10	0	0		-		6	5	10	0	0	兼1	—
	専門職的態様の	相互行為展開論	1後	1					○		1	2			*講義
		生命倫理学	1後	1				○			1				
		社会制度と福祉	2前	2				○			2				兼2
		生活と研究	2前	1					○	10	2				共同*講義
	小計(4科目)	-	5	0	0		-		10	5	2	0	0	兼2	—
	看護の本質と看護技術	看護学概論	1前	2					○	3	1	7			オムニバス *演習 *実習
		看護技術学概論	1後	2					○	1		7	1	1	共同*演習 *実習
		看護技術学各論Ⅰ(アセスメント技術)	2前	2					○	2		6	1	1	共同*講義 *実習
		看護技術学各論Ⅱ(生活行動支援技術, 生活機能維持促進技術)	2前	2					○	2		6	1	1	共同*講義 *実習
		看護技術学各論Ⅲ(治療過程支援技術, 症状緩和技術)	2前	2					○	2		6	1	1	共同*講義 *実習
		看護技術学各論Ⅳ(心理的支援技術, 教育的支援技術)	2後	2					○	2		6	1	1	共同*講義 *実習
		看護技術学各論Ⅴ(看護過程と看護理論)	2後	2					○	2		8	1	1	共同*講義 *実習
看護技術学各論Ⅵ(実習)		2後	2					○	2		8	1		共同*講義 *演習	
看護倫理学		3前	1					○	1					*演習	
看護対象擁護論		4後		1				○	1					*演習	
小計(10科目)	-	17	1	0		-		5	1	8	1	1	0	—	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門教育科目	人間の生涯発達と看護	生涯発達看護学概論	2前	2			○			5						オムニバス *演習
		生涯発達看護学各論Ⅰ(母胎期)	2後	2				○		2	1	2				共同*講義
		生涯発達看護学各論Ⅱ(乳幼児期・学童期)	2後	2				○		1	1	2				共同*講義
		生涯発達看護学各論Ⅲ(思春期・青年期)	3前	2				○		3	1	2				共同*講義
		生涯発達看護学各論Ⅳ(成人期)	3前	2				○		1	1	2				共同*講義
		生涯発達看護学各論Ⅴ(老年期)	3前	2				○		1	1	3				共同*講義
		生涯発達看護学各論Ⅵ(実習)	3後	10					○	5	5	10				共同*講義 *演習
	小計(7科目)	-	22	0	0				5	5	10	0	0	0	-	
	地域で生活する人々の健康と看護	地域健康看護学概論	2後	2			○			1	1					オムニバス *演習
		地域健康看護学各論Ⅰ(家庭環境)	3前	2			○			1	3	1				共同*演習
		地域健康看護学各論Ⅱ(保健・医療・福祉施設環境)	3前	2			○			1	3					オムニバス
		地域健康看護学各論Ⅲ(学習環境)	3前	2			○			2	1	3				オムニバス
		地域健康看護学各論Ⅳ(労働環境)	3前	2			○			1	3	1				共同*演習
		地域健康看護学各論Ⅴ-1(家庭環境実習)	3後	2					○	1	2	3	1			共同*講義 *演習
		地域健康看護学各論Ⅴ-2(公衆衛生看護実習)	3後		4				○	1	2	3	1			共同*講義 *演習
		人間集団と健康(疫学)	4通		2		○				2	3	1			兼1 共同*演習
	小計(8科目)	-	12	6	0				1	2	3	1	0	兼1	-	
	看護専門職の役割と機能	機能看護学概論	2後	1			○			2	1	2				オムニバス *演習
		機能看護学各論Ⅰ(看護教育)	3前	1			○			1						
		機能看護学各論Ⅱ(看護管理)	3前	1			○			1	1	1				オムニバス
		機能看護学各論Ⅲ-1(看護政策)	3前		1		○			1						
		機能看護学各論Ⅲ-2(地域行政政策)	4前		1		○			1						*演習
		機能看護学各論Ⅳ(専門職的機能の発達支援)	3前		1			○			1	2				*講義
		機能看護学各論Ⅴ(実習)	4前		2				○	2	2	2				共同*講義 *演習
		看護関連法規論	3前	1			○			1	1	1				オムニバス
		看護専門職の役割と機能Ⅰ	3前	1			○			3	3					オムニバス
		看護専門職の役割と機能Ⅱ-1(総合実習)	4前		2				○		6	13				共同*講義 *演習
		看護専門職の役割と機能Ⅱ-2(役割移行実習)	4後			2			○		1	1				共同*講義 *演習
		専門的機能と看護実践	4前		2		○			1	4	4	2		兼1	オムニバス *演習
		看護学研究概論	3前	1			○				1					
看護学研究Ⅰ(問題解決過程)		4前	1				○			6	5				共同*講義	
看護学研究Ⅱ(EBP)		4通	4					○	11	7	21	1			共同*講義 *演習	
小計(15科目)	-	11	9	2				11	7	21	2	0	兼1	-		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
保健医療専門職 共通専門科目	保健医療情報組織学	3前	2			○			2	3				兼1 オムニバス *演習
	保健医療チーム連携論Ⅰ	4前	1				○		2	8				兼4 共同*講義
	保健医療チーム連携論Ⅱ(実習)	4前	2					○	1	17				兼9 共同*講義 *演習
	保健医療システム開発論	4後		2		○			1					兼3 共同*演習
	保健医療国際連携論	3前		2		○			1					兼4 オムニバス *演習
	小計(5科目)		-	5	4	0				4	8	16	0	0
合計(99科目)			-	94	82	2			12	11	19	2	1	兼63 -
学位又は 称号	学士(看護学)		学位又は学科の分野				保健衛生学関係(看護学関係)							
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
<p>【保健師課程卒業要件】 本学部に4年以上在籍し、所定の単位(134単位以上)を修得しなければならない。 (履修方法) (1) 教養教育科目から22単位以上履修する。 (2) 専門基礎科目から23単位以上履修する。 (3) 専門科目から72単位以上履修する。なお、選択科目のうち、地域健康看護学各論Ⅴ-2(公衆衛生看護実習)、人間集団と健康(疫学)、機能看護学各論Ⅲ-1(看護政策)、機能看護学各論Ⅲ-2(地域行政政策)を必ず履修する。また、機能看護学各論Ⅴ(実習)と看護専門職の役割と機能Ⅱ-1(総合実習)のどちらかを必ず履修する。 (4) 保健医療専門職共通専門科目から7単位以上履修する。なお、選択科目、保健医療国際連携論を必ず履修する。 (5) その他選択科目10単位以上履修する。 (履修科目の登録の上限) 1年間に55単位までとする。</p> <p>【看護師課程卒業要件】 本学部に4年以上在籍し、所定の単位(126単位以上)を修得しなければならない。 (履修方法) (1) 教養教育科目から22単位以上履修する。 (2) 専門基礎科目から23単位以上履修する。 (3) 専門科目から66単位以上履修する。なお、機能看護学各論Ⅴ(実習)と看護専門職の役割と機能Ⅱ-1(総合実習)のどちらかを必ず履修する。また、地域健康看護学各論Ⅴ-2(公衆衛生看護実習)は選択できない。 (4) 保健医療専門職共通専門科目から5単位以上履修する (5) その他選択科目10単位以上履修する。 (履修科目の登録の上限) 1年間に55単位までとする。</p>						1学年の学期区分		2期						
						1学期の授業期間		15週						
						1時限の授業時間		90分						

(注)

- 1 学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科の設置又は大学における通信教育の開設の届出を行おうとする場合には、授与する学位の種類及び分野又は学科の分野が同じ学部等、研究科等若しくは高等専門学校等の学科(学位の種類及び分野の変更等に関する基準(平成十五年文部科学省告示第三十九号)別表第一備考又は別表第二備考に係るものを含む。)についても作成すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校等の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合、大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は、この種類を作成する必要はない。
- 3 開設する授業科目に応じて、適宜科目区分の枠を設けること。
- 4 「授業形態」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。

授業科目の概要

(看護学研究科看護学専攻(D))

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	保健医療組織管理学特論	<p>本研究科は、保健医療機関の組織運営に対等な立場で参画し、多職種と連携しながら保健医療サービスの維持・向上に向けて組織運営に取り組むことのできる人材育成に必要な科目として、保健医療組織管理学特論を提供する。</p> <p>医療機器の高度化、患者ニーズの多様化、チーム医療の推進など、大きく変化している医療を取り巻く環境に対応するため、看護職者・診療放射線技師がチーム医療の一員として自身の専門分野についての深い理解と独創性を発揮できる能力を養う。また、分野を超えた俯瞰力、合意形成ができるコミュニケーション力、合意の結果を形にできる行動力といった能力の修得を目指す。さらに、チーム医療の中で看護部門・放射線部門を統括するリーダーとしての資質と知識を備える目的の一環として、組織の管理運営について検討する能力を修得する。</p>	共同 講義 10回 演習 5回
専門科目	看護政策管理学特論	<p>本研究科は、保健医療機関の組織運営に対等な立場で参画し、多職種と連携しながら保健医療サービスの維持・向上に向けて組織運営に取り組むことのできる人材育成に必要な科目として、看護政策管理学特論を提供する。</p> <p>看護管理全般、看護行政または保健医療福祉政策および社会情勢を考慮し、現在または未来の看護政策管理学の在り方を追求する。また、社会のニーズに対応した看護サービス提供システムの開発・維持・変革に向けた能力の開発を目指す。具体的には、組織運営における様々な問題を明確にするために、関連する概念や理論と看護政策管理学に関する研究方法論について理解を深める。また、組織運営への参画や看護サービス提供システムの開発・維持・革新に向けた看護管理を実践するための方法について理解を深める。さらに、看護政策管理学に関する知識や国内外の研究成果を用いて、看護サービス提供システムの開発・維持・革新および組織運営に関する方策を検討する。</p> <p>学生は、これらのことを通して、保健医療サービスの維持・向上に向けて組織運営に取り組むことのできる能力を修得する。</p>	共同 講義 8回 演習 7回
	看護教育学特論	<p>本研究科は、高等教育としての看護学教育の特徴と課題に精通し、看護学教育の中核を担う大学教員として質の高い教育を展開することのできる人材育成に必要な科目として、看護教育学特論を提供する。</p> <p>看護教育学特論を通し、学生は、看護学教育及び看護教育学に関する知識・理論と看護教育学研究の方法論の理解を深める。また、看護教育学教員が国内外で実施する看護職者・看護学生の発達支援のための教育・研究活動を参加観察し、それに基づき看護教育学の意義や特徴、看護教育学研究の方法論に対する理解を深める。具体的には、学生は、質の高い看護の提供を実現するために展開される看護職者・看護学生の発達支援のための教育活動や研究活動を参加観察し、観察した内容の分析により、看護教育学や看護教育学研究に関する知識・技術・態度を検討する。この検討を通して学生は、看護教育学の学問としての位置づけ、および意義、特徴を理解する。</p>	共同 講義 7回 演習 8回

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
専門科目	実践看護学特論	<p>本研究科は、看護実践に役立つ専門性の高い知識を産出するとともに、それを他の看護職者へ普及し、質の高い看護の提供を実現するために必要な科目として、実践看護学特論を提供する。</p> <p>科学的根拠に基づいた実践（Evidence-Based Practice：EBP）の実現とその普及に向け、質の高い看護実践を促進するために活用可能な基盤となる知識と自らが産出した研究成果を用いて、その研究成果の検証を通し、EBP としての実践への適用を考察する。具体的には、学生は自己の修士論文およびその他の自己の研究論文の研究成果を用い、実践への適用を検証するために必要な国内および海外文献を探索・精読する。また、検証方法論の検討を行い、検証計画を立案し、プレゼンテーションを行う。学生が提示した研究論文の方法および内容等に精通した教員の支援・助言を受けながら、自らが産出した研究成果の実践への適用を検証する。</p> <p>このことを通し、EBP の実現に向け、看護学を充実・発展・革新させていく必要性を理解するとともに、より質の高い看護実践の知識・技術の普及が重要であることを理解する。</p>	共同 講義 7 回 演習 8 回
	看護専門職の役割と責務	<p>本研究科は、様々な地域で生活する人々の生涯にわたる健康水準の維持、向上に向けて看護学を充実・発展・革新し続けることに価値を認めることのできる人材育成に必要な科目として、看護専門職の役割と責務を提供する。</p> <p>社会環境の変化に対応した看護の提供に向けては、看護専門職としての役割と責務および職業的自律性について熟考することが求められる。そのため、この科目の履修を通して、人々の尊厳と自律性を尊重したケアについて多面的に検討し、新しい知見を探求することによって、看護学の充実・発展・革新を牽引していく必要性を理解する。具体的には、フィールドワークを通して、人々の健康水準の維持、向上の支援のために、他の学問領域の知識や理論を看護学へ適用するなど、看護の知識・技術の発展を多面的に検討できる能力を修得する。</p>	共同 講義 1 回 演習 14 回
	倫理学特別演習	<p>本研究科は、様々な地域で生活する人々の生涯にわたる健康水準の維持、向上に向けて看護学を充実・発展・革新し続けることの価値を認めるために必要な科目として、倫理学特別演習を提供する。</p> <p>倫理学特別演習を通し、学生は、科学的根拠に基づいた保健医療の実践及び教育の根拠となりうる研究成果を産出する過程において必要となる倫理的態度を理解する。具体的には、保健医療の実践・教育の現場及び研究過程において、特に保健医療専門職者が直面する倫理的問題を確認し、文化あるいは諸科学との関連も含めながら、倫理的課題の解決・回避に必要な知識・技術を修得する。また、社会的に問題となっている研究倫理に関する事例を取り上げ、倫理的側面から多角的に考察を行い、研究における倫理的感受性を高める必要性を理解する。</p>	共同 講義 5 回 演習 10 回
	プレ FD 特別演習（大学教員としての基礎）	<p>本研究科は、高等教育としての看護学教育の特徴と課題に精通し、看護学教育の中核を担う大学教員として質の高い教育を展開することのできる人材育成に必要な科目として、プレ FD 特別演習（大学教員としての基礎）を提供する。</p> <p>特別演習（大学教員としての基礎）を通し、学生は、大学教員としての役割をより良く果たすための基礎知識として、大学教員の役割に関する知識とともに、授業の設計・展開・評価に必要な知識と技術を修得する。具体的には、まず学生は、大学教員の役割に関する知識、授業の設計・展開・評価に関する知識と技術を学習する。また、学習した知識・技術を活用し、担当教員の支援・助言を受けながら仮想大学看護学部の授業を設計し、模擬授業として実際に展開し、評価する。</p>	共同 講義 3 回 演習 12 回

科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
特別研究	特別研究Ⅱ	<p>本研究科は、より専門的な観点から看護学の充実・発展・革新に資する研究成果（エビデンス）を産出することのできる人材育成に必要な科目として、特別研究Ⅱを提供する。</p> <p>特別研究Ⅱを通し、学生は、質の高い看護実践、質の高い看護学教育あるいは優れた看護政策管理という観点から、実践の根拠となりうる研究成果の産出を試みる。具体的には、個々の興味・関心に従い累積した学習成果を活用し、研究課題の焦点化、研究方法論の決定を行い、研究計画書を作成する。研究計画に基づくデータ収集・分析、論文作成、発表、評価に至るまでの一連の研究過程を通し、看護学研究の成果を産出・蓄積する意義を認める。また、研究者として自立して研究活動を行い、専門的な業務に従事するために必要な研究能力と看護専門職としての研究的態度を修得する。</p> <p>(① 齋藤基)</p> <p>看護実践に関する研究課題を選択した学生のうち、地域保健活動、在宅看護に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <p>(1)生活習慣病の保健指導に関する研究 (2)家族介護者の介護行動に関する研究 (3)地域看護活動における実践課題に関する研究</p> <p>(③ 横山京子)</p> <p>看護実践に関する研究課題を選択した学生のうち、小児期にある人々への看護、小児看護学教育に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <p>(1)病気や障害をもつ子どもと家族への看護に関する研究 (2)小児看護に携わる看護師に関する研究 (3)小児看護学教育に関する研究</p> <p>(④ 中西陽子)</p> <p>看護実践に関する研究課題を選択した学生のうち、がんおよび他疾患の急性期・慢性期・終末期にある人々とその家族への看護に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <p>(1)慢性疾患患者の患者教育に関する研究 (2)がん終末期患者および家族の支援に関する研究 (3)遺族ケアに関する研究</p> <p>(⑤ 巴山玉蓮)</p> <p>看護政策管理に関する研究課題を選択した学生のうち、組織の管理・運営、看護職が働く場の環境整備に関する研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <p>(1)看護職の意思決定に関する研究 (2)看護職のワーク・ライフ・バランスに関する研究 (3)潜在看護師の再就業に関する研究</p>	

		<p>(⑥ 松田安弘) 看護教育に関する研究課題を選択した学生のうち、看護継続教育、「教授＝学習過程」、看護における少数者に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)看護における少数者に関する研究 (2)院内教育に関する研究 (3)教員の教授活動に関する研究 (4)学生の学習活動に関する研究 <p>(⑦ 山下暢子) 看護教育に関する研究課題を選択した学生のうち、看護基礎教育・継続教育、主に看護学実習に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)看護学実習中の学習活動に関する研究 (2)看護学実習中の教授活動に関する研究 <p>(⑦ 吉富美佐江) 看護教育に関する研究課題を選択した学生のうち、看護基礎・継続教育、主に新人看護師教育、看護学実習中の教授活動に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)新人看護師教育に関する研究 (2)新人看護師を指導するプリセプターに関する研究 (3)看護学実習中の教授活動に関する研究 <p>(⑧ 石川良樹) 看護実践に関する研究課題を選択した学生のうち、ロコモティブシンドローム等の運動機能の改善に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)運動刺激、外部刺激による筋組織、筋蛋白質の機能・発現回復に関する研究 (2)運動刺激、外部刺激による神経と筋肉の接合部再形成に関する研究 <p>(⑨ 宮崎有紀子) 看護実践に関する研究課題を選択した学生のうち、ヘルスプロモーション、研究づくり支援活動に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)生活習慣および保健行動に関する研究 (2)生活習慣要因と健康に関する研究 	
--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

		<p>(10) 高井ゆかり)</p> <p>看護実践に関する研究課題を選択した学生のうち、老年看護活動や疼痛管理に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)疼痛管理の実態およびシステム構築に関する研究 (2)認知症高齢者とその家族員の経験探索に関する研究 (3)多様な場で展開される高齢者へのケアの質向上に関する研究 <p>(11) 廣瀬規代美)</p> <p>看護実践に関する研究課題を選択した学生のうち、がん治療期・終末期、慢性疾患を有する人々とその家族への看護に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)喉頭・咽頭がん患者および家族の看護支援に関する研究 (2)緩和ケアにおける教育支援に関する研究 (3)慢性疾患患者の患者教育に関する研究 <p>(12) 大澤真奈美)</p> <p>看護実践に関する研究課題を選択した学生のうち、公衆衛生看護を主とした地域看護に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)生活習慣病予防の保健指導に関する研究 (2)乳幼児虐待予防における保健師活動に関する研究 (3)公衆衛生看護活動における実践課題に関する研究 <p>(13) 飯田苗恵)</p> <p>看護実践に関する研究課題を選択した学生のうち、在宅看護、地域保健活動に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)訪問看護ステーションの拡充に関する研究 (2)神経難病療養者等に対する在宅療養者支援に関する研究 (3)地域包括ケアシステムの推進に関する研究 <p>(14) 狩野太郎)</p> <p>看護実践に関する研究課題を選択した学生のうち、老年期にある人々への看護およびがん看護に関わる研究課題を持つ学生の特別研究指導を行う。</p> <p>■主な研究課題</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)高齢者が持つ身体・心理・社会的強みを引き出す看護援助に関する研究 (2)高齢者ケアを学ぶ学生およびケア従事者の高齢者イメージに関する研究 (3)がん患者の症状マネジメントおよび高齢がん患者の看護援助に関する研究 	
--	--	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--